

光の道実現による、直接経済効果および経済波及効果を推計する

①直接経済効果の推計

光の道敷設

- ✓ 超高速ブロードバンドインフラ未整備地域にすべて光ファイバでインフラを敷設した場合を前提として、インフラ投資額は計1.5兆円とする
- ✓ (第9回会合時の日本電信電話の質問回答より、無線での敷設は、ケースによっては却ってコスト高になることが指摘されているため、本推計ではオール光での敷設を前提とした)

- ✓ FTTHを、現状の90%から100%に整備するために必要なインフラ投資が対象
- ✓ 具体的には下記3点を対象とする
 1. 敷設のための工事費
 2. 光ケーブル費
 3. 伝送装置費

光の道利用によるICTサービス市場の活性化

- ✓ 光の道の実現により、①インターネット回線が超高速化されるユーザー、②未利用から光インターネットを利用するようになるユーザーを対象
- ✓ 2つのシナリオについて推計
 1. 光の道目標達成シナリオ
 2. 成り行きシナリオ

- ✓ 活性化が期待される下記市場について、光の道実現による経済効果をそれぞれのシナリオについて推計
 - PC市場
 - 回線利用料市場
 - インターネット広告市場
 - インターネットショッピング市場
 - インターネットオークション市場
 - デジタルコンテンツ市場

原ロビジョンの実現による新ICTサービス市場の創出

- ✓ 2015年度末に超高速回線が100%の世帯で利用されることが前提条件
- ✓ 原ロビジョンの目標が予定通りに実現された場合の経済効果
- ✓ 各種経費の削減分については、新規投資に回るとして推計

- ✓ 数値目標が明確なもの、具体的な中身が見えているものについて推計
 - フューチャースクールの実現 など

②経済波及効果の推計

- ✓ 光の道敷設、光の道利用によるICT市場活性化(基本シナリオ)、原ロビジョン実現による新ICTサービス市場の創出が他の産業に与える経済波及効果についても推計

推計の前提条件

推計項目